

入札説明会 質疑応答

株式会社 北信食肉センター

管理番号：HSC-014

2026 年 7 月 30 日

■ 1. 質問書の提出について

回答：

- ・本説明会では簡易な質問のみ受け付け、詳細な技術的事項・仕様確認については、後日「質問書」にて提出いただくものとする。
- ・個別企業固有の質問は個別回答とし、複数社共通の質問はホームページに掲載し共有する。

■ 2. 入札金額の範囲

回答：

- ・ブロックごとの入札金額には、工事費用・電力・設備環境等、当該ブロックに係る全ての費用を含むものとする。
- ・ブロック名称は入札説明書記載の名称に従う。
- ・本入札は一括入札ではありません。

各社が確実に完遂できるブロックのみ入札していただいて構いません。

複数ブロックをまとめて入札する必要はなく、施工可能な範囲に応じて選択してください。

■ 3. 既存設備の撤去・処分

回答：

- ・既存設備の撤去に伴い発生する機器・部材等の廃材は、各社の責任において適切に処分すること。

処分にあたっては、各社が選定した産業廃棄物処理業者等へ依頼し、法令に基づき処理を行うものとする。(マニフェスト必須)

- ・発注者側での処分は一切行わない。

■ 4. 図面の提供について

回答：

- ・提示可能な図面は下記のとおりである。

建築当初の図面 ※データは現存しておらず、紙図面のみの提供となる。

・建屋および設備の追加・変更時に作成された追記図面 ※既存図面に追記された形で残存しているもの。

なお、当センターでは詳細な設計図面を作成した経緯がなく、現時点で 詳細図面は存在しない。そのため、設計にあたっては 現場確認および測量を前提 としていただきたい。

■ 5. 新設・改修・追加の定義

回答：

- ・新設・改修・追加の区分については、仕様書表紙に記載の定義に従うこと。
- ・本事業において、スキナー、自動背割り、自動化ライン（工程 5～7）については仕様上「改修」と表記しているが、当センターとしては既存機械の一部部品交換のみで自動化ライン化を実現することは困難であり実質的に入れ替えを前提とした整備内容として考えている。

■ 6. 工程表および搬入計画

回答：

- ・営業日カレンダーの休日は原則施工可能日とする。
- ・大型機械の搬入順序が重要であり、工程表は早期提出を求める。

■ 7. 施工可能時間

回答：

- ・性能検査も含め、休日施工を基本とする。
- ・金曜日夕方以降の短時間施工は状況により可能。

深夜施工は、騒音・地域配慮の観点から原則不可。

■ 8. 現場事務所の設置

回答：

- ・敷地が狭いため、大型の事務所設置は要相談。

周辺の宿泊施設が少ないため、必要な場合は早期に協議すること。

■ 9. 豚スキナーの 2 台稼働について

回答：

本事業における複数ライン構成は、処理能力の安定化、衛生管理体制の高度化、労働負担の軽減を目的としたものであり、いずれの機械も確実に稼働可能で、豚の個体差に応じて切替できる構成を必須としています。

■ 10. 既存機械の年式・部品交換について

回答：

既存機械の年式は質問書にて指定すれば回答可能。

ただし本事業は「高度化」であり、既存機械の部分交換のみで対応することは困難と認識している。

■ 11. 納期遅延への対応

回答：

本事業は補助事業であり、事業期間が厳格に定められているため、各ブロックの工事完了期限を遵守いただくことが必須となる。

そのため、各社におかれては、自社の調達状況・施工体制・納期見通しを踏まえ、確実に完了できるブロックを選択して入札いただきたい。

なお、工期内の完了が困難と見込まれるブロックについては、無理に入札いただく必要はなく、完了可能な範囲を適切に選択して入札することが可能である。

■ 12. 作業能力（処理頭数・人数）

回答：

作業時間分析資料をホームページに掲載済み。

■ 総括

本事業は補助事業であり、事業期間・仕様要件ともに厳格な基準が定められている。

そのため、各ブロックの設計・施工にあたっては、工程表・図面の不足や既存施設の構造条件を踏まえ、現地確認・測量・工程調整を確実に行うことが不可欠である。

また、各ブロックはそれぞれ独立した入札単位として設定しており、各社の施工体制・調達状況・納期見通しに応じて、確実に完遂できる範囲を選択して入札することが可能である。

無理のない範囲で適切にブロックを選択いただくことが、事業の円滑な遂行と品質確保につながる。

詳細な技術的事項や仕様確認については、質問書にて照会いただき、内容を精査のうえ、必要に応じてホームページにて全社共有する。

本事業の目的である高度な衛生管理体制の確立、労働安全の向上、生産性の向上を確実に達成するため、各社におかれては適切な計画策定と誠実な施工をお願いする。